

伝えたい

# まちの遺産

水環境と歴史的砂防えん堤を活用した地域づくり

日野川上流域にはアカタン砂防に代表される歴史的砂防えん堤が数多く存在します。一帯の地域資源を活かした「砂防パーク」づくりに向けた活動が行われています。

南越前町内には、険しい山地から流れ出る急こう配の河川が多く存在するため、過去には破壊的な水害が多発した記録が残っています。明治二十八・二十九年の豪雨は、田畑・家屋の流出が相次ぐ大被害をもたらしましたが、その後行われた福井県第一期砂防事業（明治三十三年〜四十年）において町内でも八力所が砂防指定地となり、土石流対策のための砂防えん堤が数多く築かれたことで土砂災害の発生率も軽減されました。それらは、百年以上が経過した今でも自然景観に溶け込みながらその役割を果たし続けています。



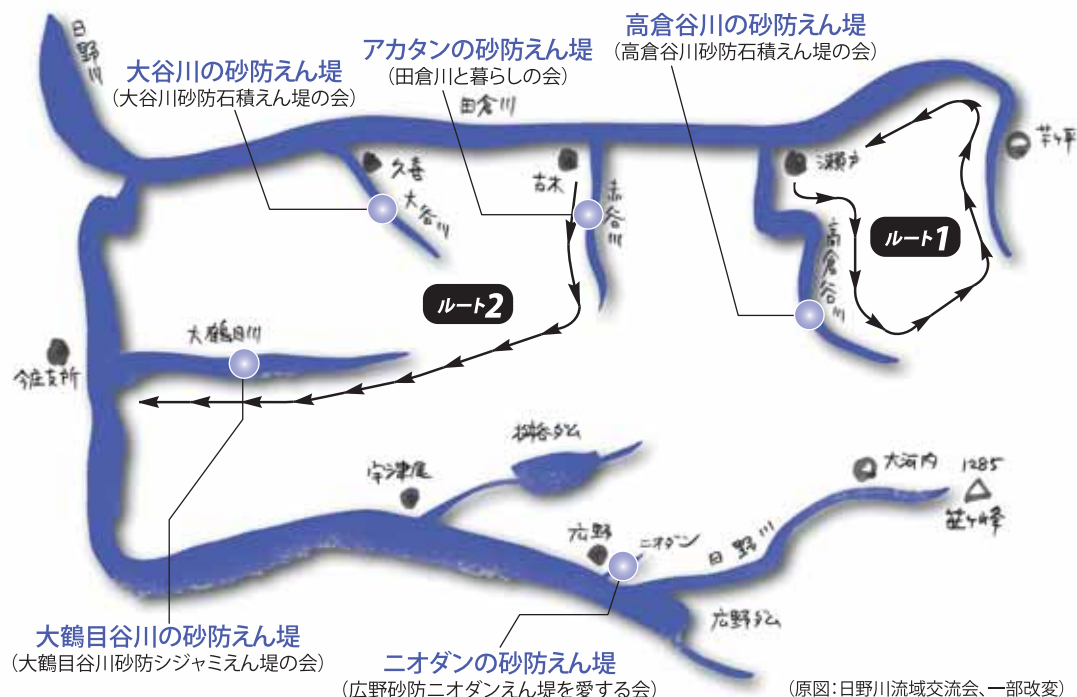
高倉谷川砂防ハイク(立成4号えん堤)



アカタン砂防(松ヶ端えん堤)

古木の赤谷川に残る「アカタン」は、元の住民グループ「田倉川と暮らしの会」を中心にえん堤の保全活動や自然学習、都市住民との交流活動などを長期にわたり展開しており、今やアカタンの名は全国的にも知られるようになりました。こうした活動が契機となり、高倉・久喜・大鶴目・広野でも同時期の砂防えん堤が相次いで発見され、それぞれの住民組織も立ち上がりました。今後は互いに連携を深め、一帯に残る歴史的砂防遺産と古道・鉱山跡・滝・ブナ林などの水源遺産を活かした「砂防パーク」づくりが計画されています。具体的な活動内容としては、  
①えん堤の保全活動を含めた砂防ハイク  
②砂防パークを回廊するルートの探索  
③砂防パークを活用した地域づくりを考えるためのシンポジウムの開催――を予定しています。

- ルート1** 瀬戸 → 高倉谷川砂防(立成4号えん堤) → 古道(塩の道・木地師の道) → 高倉峠 → 芋ヶ平 → 瀬戸
- ルート2** 古木 → アカタン砂防えん堤群 → 古道 → 大鶴目谷川砂防(シジャミえん堤) → 今庄総合事務所



(原図:日野川流域交流会、一部改変)